

行田・杉戸(第5班)

行田市における水害・土砂災害年表

発生年月	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1624 (寛永元年)	大雨	水害	無
1704 (宝永元年)	大雨	水害	無
1717 (享保2年)	大雨	水害	無
1742 (寛保2年8月)	暴風雨	荒川および利根川両大河の水が前代未聞の大水となり押寄せた。中里村中通で水の深さ6尺、農家は床上2尺から5尺に達したことから忍領の被害は頗る甚大であった。	有 No. 5-1
1757 (宝暦7年)	大雨	水害	無
1772 (安永元年)	大雨	水害	無
1783 (天明3年)	大雨	水害	無
1786 (天明6年7月)	大雨	利根川が四方寺村、上中条で決壊し、忍領は大水害を受けた。中里村で床上2尺、村により庇まで浸水した。この年は、悪天候で田植えは遅れ、7月中出水、8月は強風で稲が実らず大不作であった。7月、9月、10月と1年間に3回も水難があった。	無
1791 (寛政3年8月)	大風雨	荒川、利根川が決壊し、耕地残らず浸水した。中里村の記録では、百姓家46軒が床上6寸から4尺まで浸水し、床下浸水で止まったものは、僅か2軒である。飯米・味噌等の水腐が多く農民は困窮した。	無
1802 (享和2年7月)	暴風雨	1802(享和2年)6月27日の夜中から大雨が続き、28日には地水が出た。29日暮れ方から大風雨となり、夜に入り、暴風雨と化した。7月1日夕刻、利根川堤防が越水し、荒川の堤防が東竹院前方(熊谷市)で押流され、荔原でも決壊した。	無
1859 (安政6年7・8月)	大暴風雨	荒川が7月25日午後4時に決壊、その後25日夜半に利根川が上中条で越水し、次いで北河原庚申塚で決壊し、26日に酒巻の堤防が切れた。両大河の濁水が押し寄せ、惨状目も当てられぬ状態となった。忍城中は26日午前5時矢場で床上4尺、片矢場、今の城西公民館のある所で床上1尺位の場所と、まさに上がろうとする所とがあった。御勘定所、今の高等女学校の所では、床上に達し帳簿類の多くを濡らした。本丸・二の丸・諏訪曲輪・上荒井・中荒井・内行田・本町等は浸水を免れた。下町の横町では、1尺45寸にも達した。人畜や田畑の損害も莫大であった。	有 No. 5-2

1868 (慶応4年7月)	大雨	利根川が北河原で15間ばかりがきれたため大洪水となり、忍領の被害は大なるものであった。	無
1890 (明治23年8月)	大降雨	利根川沿い須加村大字下中条地内の堤防が決壊し、その流水は忍町に及び、惨害甚大。その後荒川も決壊。利根川筋の酒巻、須加及び別所地区は、その害が大きかった。特に下中条は決壊の衝にあたり、しかも夜中のこと、住民の周章狼狽は言語に尽くせない。	無
1898 (明治31年9月)	大雨	忍町大字忍分として大須賀伊平外190名代人7名で東京税務管理局長あて「水害地地租特別免除願」がある。	無
1910 (明治43年8月)	暴風雨	8月2日より連日の降雨で9日は豪雨となり、風さえ加わり、10日に入り一層猛烈となり、利根川、福川(北河原地区)の堤防を越えて大氾濫し、11日午前11時、濁流はたちまちにして忍町に侵入、全町悉く浸水し、明治23年の洪水以上の惨状であった。	有 No. 5-3
1914 (大正3年)	大雨	忍町長から北埼玉郡長あて白米、味噌の救援物資の仮領収証(大正3年9月22日付)がある。	無
1947 (昭和22年9月)	カスリーン台風	カスリーン台風の被害は甚大なものがあつた。半壊家屋：6世帯 床上浸水：261世帯 1,318人 床下浸水：1,345世帯、6,486人	無
1966 (昭和41年6月)	台風4号	総雨量は332mmに達し、忍川をはじめ市内各河川がいっせいに氾濫し、主要県道のほとんどが水に浸かり、旧市街の家屋の三分の二ほどが床下浸水した。床上浸水1,013世帯、床下浸水3,031世帯、罹災人員の合計15,244名 水に浸かった田が2,400ha、畑が300haであった。災害救助法が適用された。	無
1966 (昭和41年9月)	台風26号	強風とともに集中豪雨を降らせ、負傷者12名、家屋の全壊30戸、半壊441戸、一部損傷610戸、被災者数4,968名に達した。しかも、甚大な農作物被害に加え、学校などの公共建築・施設の損傷、架線の切断、樹木の倒伏、道路の損傷などが発生した。6月の台風4号に続き2度目の災害救助法の適用を受けた。	無

- ・行田市史下巻2 行田市史編さん委員会, 行田市教育委員会 行田市 昭和39年11月
- ・行田市史下巻2 行田市史編さん委員会, 行田市教育委員会 行田市 昭和39年11月
- ・行田市史続巻 行田市史編さん委員会, 行田市教育委員会 行田市 平成15年3月

加須市(旧加須市)における水害・土砂災害年表

発生年月	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1786 (天明6年8月)	大豪雨	天明3年の浅間山の噴火で火山灰等により河床が変化し利根川・渡良瀬川・権現堂川で堤防が決壊した。旧加須市北篠崎に大きな被害	有 No. 5-4

1856 (安政 3 年 8 月)	大風雨	江戸を中心に関東一帯が暴風雨で利根川で洪水。加須から清久にかけ被害、潰れた家屋多数あり	無
1859 (安政 6 年 8 月)	大風雨	利根川の堤が約 270m 決壊(行田市)した。 ・忍領から葛西に至り加須で人馬家財流失	無
1890 (明治 23 年 8 月)	台風	利根川・荒川の堤防決潰 376 か所。橋梁流出 212 か所、死者 16 人の被害あり ・旧加須市で、浸水 436 戸	無
1907 (明治 40 年 8 月)	台風と梅雨前線	2 つの台風と梅雨前線により本州一帯に大雨利根川、荒川、多摩川が氾濫し、埼玉県で 260 万㎥浸水した。旧加須市で、浸水 3 戸、負傷者 77 名	無
1910 (明治 43 年 8 月)	梅雨前線＋台風	関東大水害。梅雨前線と 2 つの台風で利根川等が破堤し、死者・行方不明者 1,379 人、全壊・流失家屋約 5 千戸、堤防決壊 7,266 か所、加須署管内で、浸水 4,971 戸、道路破壊 1 件、堤防破壊 1 件	有 No. 5-5
1938 (昭和 13 年 8 月)	台風	利根川水系で破堤、越水、加須署管内で、浸水 41 戸、家屋破壊 1 件	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	台風と前線による大雨で利根川が 400 メートル破堤(現加須市)、荒川が 100 メートル(熊谷市)が破堤、県内 124 ヲ所で堤防が決壊した。県内で、死者 86 人、行方不明者 10 人、負傷者 1,394 人、流失家屋 392 棟、全壊 726 棟等の被害が発生した。加須署感管下 12 カ町村中被害皆無の町村なし。7 村は全滅の状況。旧加須市で、死傷者 31 人、全壊 129 戸、半壊 58 戸、浸水 2,1717 戸	有 No. 5-6
1949 (昭和 24 年 9 月)	キティ台風	小田原市の西に上陸後、熊谷市付近を通過し、柏崎市から日本海へ抜けた。加須地区で、負傷 1 名、破壊 9 戸	無
1959 (昭和 34 年 8 月)	伊勢湾台風	紀伊半島に上陸し、北陸地方を経て日本海へ抜けた。加須市で、破壊家屋 16 戸	無
1966 (昭和 41 年 9 月)	台風 26 号	御前崎に上陸後、埼玉県北西部を北上した。県内で、死者 28 人、負傷者 727 人、全壊家屋 1,242 戸、流失家屋 1 戸、半壊家屋 6,699 戸等の被害が発生した。旧加須市で、災害救助法を適用した。	無
1993 (平成 5 年 8 月)	台風 11 号	銚子市付近を通過し、関東甲信地方から東北地方南部にかけて大雨となった。加須市で、床上浸水 5 棟、床下浸水 7 棟	無
2013 (平成 25 年 10 月)	台風 26 号	強い勢力のまま関東地方に最接近した。関東東海地方を中心に大雨となった。県内で、重軽傷 12 人、家屋一部損壊 12 棟、床上浸水 109 棟等の被害があった。加須市で、床上浸水 6 棟、床下浸水 33 棟	無

- ・埼玉県地域防災計画資料編第 3 編風水害編 埼玉県防災会議 埼玉県 平成 26 年 12 月
- ・加須市史通史編 加須市史編さん室 加須市 昭和 56 年 2 月 16 日
- ・加須市史資料編Ⅱ近現代 加須市史編さん室 加須市 昭和 58 年 3 月 20 日
- ・埼玉県公式ホームページ→県政ニュース(記者発表資料) →県政資料一覧表を見る
→県政ニュース年月から検索

加須市（旧騎西町）における水害・土砂災害年表

発生年月	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1742 (寛保2年8月)	大風雨	大雨の後晴れが続き、再度大雨となった。江戸三大水害の一つである。利根川が破堤し、阿良川の堤防が決壊した。 ・旧騎西町で、死者20名(施餓鬼供養塔から)	有 No. 5-7
1898 (明治31年9月)	大雨	利根川の洪水、見沼代用水の氾濫があった。 ・旧騎西町で、浸水家屋70戸	無
1910 (明治43年8月)	梅雨前線＋台風	梅雨前線と2つの台風で利根川等が破堤し、死者・行方不明者1,379人、全壊・流失家屋約5千戸、床上床下浸水約51万8千戸、堤防決壊7266か所。騎西域の65%以上で家屋が浸水	無
1947 (昭和22年9月)	カスリーン台風	台風と前線による大雨で利根川が400メートル破堤(現加須市)、荒川が100メートル破堤、県内124カ所で堤防が決壊した。県内で、死者86人、行方不明10人、負傷者1,394人、流失家屋392戸、全壊726戸等の被害が発生した。葛西用水を乗り越えて鷺宮に向かった氾濫流の一部は、青毛掘川を逆流しながら西進し、氾濫域は騎西町船橋付近まで及んだ。	無
1966 (昭和41年9月)	台風26号	御前崎に上陸後、埼玉県北西部を北上した。県内で、死者28人、負傷者727人、全壊家屋1,242戸、流失家屋1戸、半壊家屋6,699戸等の被害が発生した。 ・災害救助法を適用した。 ・旧騎西町で、死傷者4人、家屋の破壊1,250戸、玉敷神社の藤棚が倒壊した。	無

- ・埼玉県地域防災計画資料編第3編風水害編 埼玉県防災会議 埼玉県 平成26年12月
- ・騎西町史通史編 騎西町社会教育課郷土資料係 加須市教育委員会 平成17年3月1日
- ・騎西町史近世資料編 騎西町史編さん室 騎西町教育委員会 平成元年1月20日

加須市(旧北川辺町)における水害・土砂災害年表

発生年月	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1786 (天明6年)	大雨	大字小野袋長五十八間破堤大字栄長八十間破堤大字柏戸長八十四間同長百二十五間二ヶ所破堤大字本郷長百十八間破堤五ヶ所ニ及ビ一面浸水被害多大ニシテ其惨其害実ニ名状スベカラズ 史料①	無
1791 (寛政3年)	大雨	大字栄長五十間大字本郷七十六間ノニヶ所破堤シ西方高地ヲ除ク外一面浸水被害多大ナリ 史料①	無
1805 (文化2年)	大雨	(決壊箇所)本郷 史料③	無
1810 (文化7年)	大雨	(決壊箇所)川辺、利島 史料③	無
1812 (文化9年)	大雨	大字栄長六十間破堤堤内一面浸水被害大ナリ 史料①	無

1820 (文政3年)	大雨	(決壊箇所)麦倉 史料③	無
1822 (文政5年)	大雨	大字向古河長九十五間大字本郷長四十五間ノ ニヶ所破堤アリタリ 史料①	無
1824 (文政7年)	大雨	大字柳生長四十間同所三十六間大字小野袋長 百二十間大字栄九十間同所二十間川辺小野袋 七十六間大字向古河百五間同所長九十五間破 堤実ニ八ヶ所ニ及ビ堤内一面浸水被害ノ惨タ ル実ニ多大ナリ 史料①	無
1826 (文政9年)	大雨	大字小野袋長六十間破堤田畑一面浸水ス 史料①	無
1828 (文政11年)	大雨	大字小野袋長三十一間大字栄九十五間大字本 郷長六十九間破堤々内一面浸水泥海ト化シ被 害甚シ 史料①	無
1835 (天保6年)	大雨	大字柳生長三十五間破堤々内田園一面浸水被 害大シ 史料①	無
1840 (天保11年)	大雨	大字栄長七十五間破堤浸水床上ニ及ブ被害一 般ニ多大ナリ 史料①	無
1844 (弘化元年)	大雨	大字小野袋長七十四間大字本郷長四十六間破 堤田畑浸水被害大ナリ 史料①	無
1845 (弘化2年7月中)	大雨	本郷村前谷村界破堤シ渡良瀬川堤小野袋村字 中郷堤破壊八拾壱間欠壊。(被害略) 史料②	無
1845 (弘化2年8月)	大雨	麦倉村字内野前堤長六十間破壊。(被害略) 史料②	無
1846 (弘化3年6月)	大雨	向古河村字下向古河堤長五拾間、小野袋村字 馬場川岸堤、字庄兵衛裏堤、本郷村字前谷界 前谷堤、字本郷界堤、字重助裏堤六ヶ所延四 百間破壊。(被害略) 史料②	無
1846 (弘化3年7月)	大雨	麦倉村字火打沼堤長六十四間破壊、飯積村字 新屋敷堤長六十間破堤。(被害略) 史料②	無
1856 (安政3年7月)	大雨	大曾村字観音前堤長式百間破堤。翌廿八日渡 良瀬川堤本郷村堤破堤。(被害略) 史料②	無
1858 (安政5年)	大雨	飯積八十間麦倉百八十間栄六十間本郷二十 間破堤浸水被害弘化三年ト同様ナリ 史料①	無
1859 (安政6年)	大雨	本郷六十間破堤田畑ノ被害多シ 史料①	無
1866 (慶応2年)	大雨	栄七十間西部ノ高地ヲ除クノ外一面ニ浸水浸 水被害多シ 史料①	無
1870 (明治3年7月)	大雨	柳生村道中、柏戸村延寿院東、駒場村字明神 裏、本郷村字天沼、前谷村字六軒四ヶ所一時 ニ破堤シ水害家屋拾八軒他。 史料②	無
1870 (明治3年8月)	大雨	麦倉村字八幡堤長十間砂堤水害八幡神社壱棟 流出他。 史料②	無
1882 (明治15年)	大雨	栄五十五間破堤被害少ナカラズ 史料①	無
1883 (明治16年)	大雨	(決壊ヶ所)前谷本田 史料③	無
1885 (明治18年7月)	大雨	駒場四十二間破堤田畑浸水ス 史料①	無
1889 (明治22年)	大雨	栄八十間本郷二十七間破堤々内一面ニ浸水被 害大ナリ 史料①	無

1890 (明治 23 年 8 月)	大雨	飯積七十間栄七十五間破堤浸水甚ク床上四五尺ニ及ビ其惨害大ニシテ殆ンド名状スベカラズ 史料①	有 No. 5-8
1892 (明治 25 年)	大雨	栄五十間破堤一面ニ浸水其被害甚シ 史料①	無
1896 (明治 29 年 9 月)	大雨	柳生七十間栄二十同所三十間柏戸八十間本郷三十間同所百二十破堤七ヶ所ニ及ビ浸水一面田畑の荒蕪地ト化センモノ甚ダ多ク其惨害実ニ多大ナリ 史料①	無
1897 (明治 30 年)	大雨	大字駒場長四十三間破堤田畑其他浸水被害多シ 史料①	無
1898 (明治 31 年 9 月)	大雨	大字麦倉長二百七十九間破堤大字栄長二十間大字柏戸五十五間大字向古河百間大字駒場長二十五間大字本郷七十間破堤六ヶ所一面ニ浸水夥シク其惨害多大ナリ 史料①	無
1902 (明治 35 年 9 月)	大雨	大字飯積長二百五間破堤大字本郷長四十五間破堤アリ浸水階上ニ及ブモノサヘアリ故ニ炊焚スルコト能ハズ其窮状名状スベカラザルニ至リシヲ以テ焚出シ救助ヲウケ糊口ヲ凌ギシモノ殆ンド全部ナル有様ニテ其惨害ノ多大ナルコト夥シ 史料①	無
1907 (明治 40 年 8 月)	大雨	渡良瀬川増水。大字飯積長二百八十間破堤セシ為堤内ハ濁水滔々泥海ト化シ床上床下ハオロカ階上浸水七分以上ニ及び沃野ハ荒蕪地ニ化シ殆ンド其惨憺タルコト名状スベカラズ被害民ノ救助ヲ受けシモノ其ノ数夥多ナリ 史料①	無
1909 (明治 42 年)	大雨	(決壊ヶ所)麦倉、川辺村 史料③	無
1910 (明治 43 年 8 月)	大雨	利根川等増水。大字飯積長三十六間同所長三十七間破堤大字柳生長三十七間同所長四十間同所長三十間同所長三十三間同所長四十間同所長五十五間破堤大字小野袋五十間破堤大字栄本郷入會長百八十二間(堤内ヨリ堤外ニ破堤)大字駒場本郷入會長七十四間破堤十一ヶ所ニ及ビ家屋ノ流出倒潰等許多アリ浸水床上床下ニ止マレルモノハ極メテ一小部ニシテ大部分ハ階上ニ及ビシ家屋多ク土地ノ低キ家屋ハ瓦葺ハ水中ニ没シ其他ノモノハ浮流スル光景実ニ惨状ヲ極メシ古今未曾有ノ大洪水ナリ然ルニ本村一名ノ死傷者行方不明者ナキハ不幸中ノ幸ナリキ 史料①	有 No. 5-9
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	9 月 15 日頃より、利根川、渡良瀬川は増水し、午後 11 時頃より渡良瀬川の堤防上約 2000m に涉り溢水開始し、16 日零時 15 分頃決壊した。川辺村・利島村とも全域水没しその被害は、死者 9 人、流失家屋 48 戸、全壊 162 戸、農作物被害水稻 661 町歩など大水害を被った史料④、⑤	有 No. 5-10

・北川辺町史 史料集(四)「北川辺の水害」 北川辺町史編さん委員会 北川辺町 1979 年 史料①:P55～「水災史大要」から、史料②:P65～:「北川辺領の水害」から、史料③:P123～「付一北川辺町洪水史年表」から※原典:北埼玉郡利島村水災史、板倉町災害治水利水史年表、羽生市史資料集、埼玉県北埼玉郡 史、古文書

- ・埼玉県水害誌:昭和 22 年 9 月 埼玉県編 埼玉県 1950 年 史料④
- ・災害教訓の継承に関する専門委員会報告書「1947 カスリーン台風」 中央防災会議 2010 年 1 月 史料⑤
- ・利根川百年史 利根川百年史編集委員会、国土開発技術センター編 建設省関東地方建設局 1987 年 11 月※大字伊賀袋は渡良瀬川改修により古河市から昭和初期北川辺町に編入されたこともあり、1947(昭和 22 年)9 月洪水以外は調査対象外

加須市(旧大利根町)における水害・土砂災害年表

発生年月	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1624 (寛永元年 8 月)	大雨	本川俣地内千手院裏破堤。古利根川・太日川増水、亀有・葛西・本所・深川氾濫	無
1631 (寛永 8 年 9 月)	大雨	利根川洪水、稲子地先破堤	無
1704 (宝永元年 7 月)	大雨	八甫村泉脇 100 間余切所、川俣竜蔵寺堤・渡良瀬川・権現堂堤破堤。浅間山噴火	無
1723 (享保 8 年 9 月)	大雨	利根川、上中条堤決壊	無
1742 (寛保 2 年 8 月)	大風雨	新川通・中渡・中新井・琴寄・砂原、破堤。大名手伝普請、羽生領(萩藩)、向川辺・島中川辺領(津藩)	無
1745 (延享 2 年 8 月)	大雨	浅間川(古利根川)決壊(弁天池できる)	無
1749 (寛延 2 年)	大雨	古利根川、中新井村堤防決壊(香林寺池できる)	無
1757 (宝暦 7 年)	大雨	下新井村外池(お谷が池)できる	無
1766 (明和 3 年 6 月)	大雨	浅間川(古利根川)決壊、大桑・鷲宮浸水	無
1773 (安永 2 年)	大雨	中渡・新川通、堤防崩れる。琴寄・中新井・下新井、堤防漏水	無
1781 (天明元年)	大雨	琴寄古堤・弥兵衛・新川通、決壊	無
1783 (天明 3 年)	大雨	川口門樋堤切れ、大水	無
1786 (天明 6 年)	大雨	関東大洪水、中渡・下新井村堤切れる(大沼・お花が池できる)	無
1792 (寛政 4 年)	大雨	北大桑村門樋、押し流され、羽生領、大水となる	無
1819 (文政 2 年)	大雨	新川通村、一か所破堤	無
1824 (文政 7 年 7 月)	大雨	新川通村、一か所破堤。下新井村野中、堤防切れる	無
1887 (明治 20 年 8~9 月)	降雨	数回の降雨により田冠水、作付不能	無
1890 (明治 23 年 8 月)	大風雨	各村ことごとく湛水、現町域内の田約 280 町歩、畑約 450 町歩被害	無
1894 (明治 27 年 8 月)	大暴風雨	原道村・東村、堤防各所より水漏れ	無
1896 (明治 29 年 9 月)	大雨	利根川・渡良瀬川・権現堂川・江戸川流域に被害	無

1897 (明治 31 年 9 月)	暴風雨	川口塚閉鎖(憲兵隊出動)。1898(明治 31 年)9 月川口塚開閉について約定取り交わす	無
1907 (明治 40 年 8~9 月)	暴風雨	利根川・荒川、堤防決壊	無
1910 (明治 43 年 8 月)	台風	新川通・旗井天神堤防破壊、田畑浸水被害一東村 30 町歩、原道村 28 町歩、元和村 1 町歩豊野村 8 町歩	無
1925 (大正 14 年 8 月)	大雨	川口樋管問題悪化。豊野村、水田 200 町歩浸水	無
1928 (昭和 3 年 7 月)	大雨	200 町歩、水田冠水	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	利根川、カスリーン台風により増水、新川通堤防決壊	有 No. 5-11

- ・大利根町町史 通史編 大利根町教育委員会 大利根町 2004 年 3 月、左記資料の「大利根町略年表」から大利根町関係の洪水記録抜粋 原典:羽生市史 上巻 竜淵寺年代記
- ・利根川百年史 利根川百年史編集委員会、国土開発技術センター編 建設省関東地方建設局 1987 年 11 月(明治 43 年洪水の台風名称等)

羽生市における水害・土砂災害年表

発生年月	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1624 (寛永元年)	大雨	羽生市川俣地内(千手院裏破堤)羽生市の被害は不明	無
1701 (元禄14年7月)	大雨	荒川の洪水で大里郡市田村の篠津新田の堤防押し切る。羽生市の被害は不明	無
1704 (宝永元年7月)	大雨	羽生市川俣地内(竜蔵堤防破堤)・渡良瀬川破堤45間、田畑多く砂地と化す。	無
1717 (享保2年7月)	大風雨	関東一円大風雨で洪水起こる。羽生市の被害は不明。	無
1723 (享保8年8月)	大雨	夜八ッ時(午前2時ごろ)羽生市稲子村塚下百間程度が破堤。羽生市の被害は不明	無
1727 (享保12年8月)	大雨	江戸幕府以来の出水となり、本県下に被害甚大。羽生市の被害状況は不明。	無
1736 (元文元年8月)	豪雨	豪雨のため利根川が満水し遂に18日上中条堤は箕の輪から四方寺までのうち13箇所255m間が崩壊した。羽生市の被害状況は不明。	無
1742 (寛保2年)	大雨	利根川の上流が決壊し羽生市新郷で被害が大	無
1749 (寛延2年)	大雨	古利根川堤旗井村地内破堤。羽生市の被害状況は不明。	無
1757 (宝暦7年5月)	大雨	利根川洪水で権現堂川決壊す。利根川大出水。羽生市の被害状況は不明。	無
1786 (天明6年7月)	大雨	暮六ツ上川俣竜蔵堤押し切領中へ水入。発戸観乗院過去帳に「同年(天明6年)7月16日夜五ッ時川又村竜蔵切ル。境長サ70間余之流死ハ無シ之候」と記されている。	無
1791 (寛政3年8月)	大雨	下村君隄押し切、同日川又(上川俣地内竜蔵)隄押し切(東京渋井家文書)発戸観乗院過去帳に「寛政3年亥ノ8月5日6日より大雨同7日朝五ッ時下村君村代ノ宮ト申川堤押し切家数56拾軒余押流シ流死男女4人堤村ニ而茂流死4人家式拾軒押し流シ延命寺境内砂入ニ相成御寺床上水式尺三尺ニ候。同日上川又竜蔵下村ト同時に押し切申候竜蔵ハ天明6年ト同年ト二度切水ニ流死ハ無ニ御座候二度之切水ニ当寺境内通へハ水参リ不レ申候水天神東ノ大道へホト東ノ大道迄参り候」と記されている。	無
1823 (文政6年6月)	大雨	阿良川堤11間押し切る(松村勝著「志多見村史」)利根川、荒川ともに増水。利根川では北河原堰樋が決壊する。須加大輪界利根川破堤百四間、付近の田畑約二百五拾町歩砂山と変わる。羽生市の被害状況は不明。	無
1833 (天保4年8月)	大風雨	関東大風雨で洪水となり、農作物に損害多く凶作、飢饉米価、暴騰する。羽生市の被害状況不明	無

1840 (天保 11 年 6 月)	大雨	上中条、上川俣堤防押し切る。羽生市の被害状況は不明。	無
1844 (弘化元年 7 月)	大雨	前谷村本郷村界破堤、小野袋村渡良瀬川破堤。羽生市の被害状況は不明。	無
1845 (弘化 2 年 7 月)	大雨	本郷村前谷界隄 81 間欠損となる。羽生市の被害状況は不明。	無
1859 (安政 6 年 6 月)	大雨	利根川の川俣が 100 間破堤、埋没家屋 3 棟	無
1885 (明治 18 年)	大雨	羽生市の被害状況は不明	無
1907 (明治 40 年 8 月)	大雨	利根川の洪水 羽生市の被害状況は不明	無
1911 (明治 43 年 8 月)	大雨	中条堤が破堤 利根川水系だけで破堤 138 個所に達する非常に大きな台風で明治時代の最大の被害をもたらした。羽生市の被害状況は新郷村において全村全く水底に没し小松村樋堤防(旧利根川)を欠損し怒濤のごとく押し入り、堤内における 13 羽生市町村は全く水底に葬られんとするに至る。牛などの家畜は水塚に避難。米等の穀類は水塚に運んでいる。流出家屋 1 戸、浸水家屋 1639 戸。	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	カスリーン台風による大雨で、利根川が増水し、昭和 22 年 9 月 16 日午前 0 時 30 分に現在の加須市(旧大利根町新川通り地先)で堤防が決壊し、羽生市においては決壊場所の上流部分に浅間川(旧利根川)の堤防が高くあったため羽生市への流入は水路や用水を遡る程度の洪水量であったため比較的被害は少なかった。しかし羽生市で一番低い三田ヶ谷地区では床上浸水があった。牛等の家畜は水塚に避難し、米などの穀類も水塚に運んだ。羽生市全体では床上、床下を含めて 667 戸。	無

・羽生市史上巻 羽生市史編集委員会 羽生市 昭和 46 年 3 月

久喜市(旧久喜市)における水害・土砂災害年表

発生年月	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1772 (明和 9 年 8 月)	関東大風雨	権現堂川堤決壊。大風で大木倒れ所沢地方で人家の潰れ多数。除堀村で潰れ家。本家 2 軒、木小屋 23 軒、肥屋 39 軒、馬屋 1 軒。	無
1783 (天明 3 年 6 月)	大雨・大出水	荒川・利根川破堤大洪水。江戸川・古川大出水、田畑冠水。除堀村で出水。	無
1783 (天明 3 年 7 月)	浅間山大噴火	出水・降砂で田畑の損耗甚だしく、夫食拝借を願い出る。	無
1786 (天明 6 年 7 月)	大風雨・洪水	木立村堤切所、幸手・庄内・松伏・新方領洪水で押し流される。元荒川増水破堤(西方村旧記)。除堀村、大出水につき御手当金を下付される。	無
1836~7 (天保 7 年~8 年)	洪水・天候不順	7 月 18 日大風雨・大川通出水。8 月 1 日大嵐、所々大水。この年、荒川通り出水、大圍堤切	無

		断。中条堤越水。8年3月所久喜村百姓、領主より拝借金。久喜町外2か村窮民が凶作につき夫食を拝借。	
1856 (安政3年8月)	大風雨	野久喜村：潰家15軒、怪我人30人。除堀村：潰家（本家10軒、木部屋13軒、下屋9軒、門1か所。）清久村：潰家続出。	無
1859 (安政6年7月)	大風雨	130～140年来の洪水。荒川、利根川等各河川で破堤・氾濫。小河原井：浸水9軒。所久喜、下清久でほとんどの家屋が浸水。上清久：浸水1軒。六万部：浸水5軒。二丁町：4軒を除き全て浸水。除堀、所久喜村等で金銭、夫食、種粃拝借。	無
1866 (慶応2年8月)	大風雨	古河川辺領出水。栄・本郷破堤。中条堤越水。窮民多数（久喜本町：204人、久喜新町：253人、野久喜村：142人、古久喜村：177人）	無
1890 (明治23年8月)	暴風雨	利根川・荒川等各所で破堤。全県で死者16名。除堀・樋の口・流新田・青柳・江面・原の各村に浸水。（江面村：455戸、清久村：24戸）上野・久喜間で汽車が15日間休業。	無
1890 (明治23年8月)	暴風雨	利根川・荒川等各所で破堤。全県で死者16名。除堀・樋の口・流新田・青柳・江面・原の各村に浸水。（江面村：455戸、清久村：24戸）上野・久喜間で汽車が15日間休業。	無
1910 (明治43年8月)	2個の台風と低気圧の停滞	利根川各所で決壊。死者324名。浸水。（久喜町：556戸、太田村：432戸。江面村686戸、清久村459戸等）上野・久喜間で汽車が15日間休業。	無
1928 (昭和3年7月)	台風	大滝で928mm。久喜菖蒲・幸手久喜両県道・橋梁に被害。	無
1928 (昭和3年10月)	台風	清久・江面両村が税の減免。	無
1932 (昭和7年11月)	台風	電柱倒壊6、家屋破損98戸等。	無
1938 (昭和13年8・9月)	台風	荒川：破堤9か所。電話不通。東北線不定期運転。東武鉄道不通。全壊33戸、半壊28戸、床下浸水100戸等。	無
1945 (昭和20年10月)	豪雨	田の冠水362町、畑の冠水47町。	無
1947 (昭和22年9月)	カスリーン台風	全壊1棟、半壊79棟、床上2038棟、床下777棟、死者1人、負傷22人等。東北線（久喜-栗橋間9km）10月10日に開通。	無
1966 (昭和41年9月)	台風26号	全壊4戸、一部破損60戸、床下7戸等。	無
1972 (昭和47年9月)	台風20号	床下20戸等。	無
1974 (昭和49年9月)	台風16号	床上5棟、床下19戸等。	無
1977 (昭和52年8月)	大雨・長雨	久喜で274mm。床下4戸、道路冠水3か所等。	無
1979 (昭和54年10月)	台風20号	負傷4名、住家破損26棟、公共建物半壊6その他屋根、ガラス破損、樹木倒伏多数。	無

1981 (昭和 56 年 8 月)	台風 15 号	田の冠水 640ha、畑の冠水 172ha。	無
1982 (昭和 57 年 9 月)	台風 18 号・前線	久喜で 247mm。床上 11 戸、床下 66 戸、道路決壊 3、道路冠水 66 等。	無
1985 (昭和 60 年 6・7 月)	台風 6 号	久喜で 149mm。床下 4 戸、道路被害 4 か所、河川護岸損傷 1 か所等。	無
1986 (昭和 61 年 8 月)	台風 10 号	久喜で 213mm。床上 1 戸、床下 43 戸、道路冠水 7 か所等。	無
1987 (昭和 62 年 8 月)	強雨 (落雷)	久喜で 84mm。備前堀川と備前前堀川の護岸破損。	無

・久喜市史 自然編 久喜市史編さん室 久喜市 平成 2 年 3 月

久喜市 (旧菖蒲町) における水害・土砂災害年表

発生年月	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1622 (元和 8 年 9 月)	大雨	関東大洪水	無
1728 (享保 13 年 9 月)	大風雨	関東一円風水害	無
1730 (享保 15 年 8 月)	関東大風雨	各地で洪水	無
1742 (寛保 2 年)	寛保の水害	江戸幕府開設以来の大洪水。小林村 (小林後沼新田) 年貢割付状では全て「当不作」で年貢米は全て水損引き。	無
1757 (宝暦 7 年 4 月)	大雨	関東大洪水	無
1766 (明和 3 年 7 月)	大雨	関東大洪水 不作	無
1780 (安永 9 年 6 月)	大雨	関東大洪水	無
1828 (文政 11 年 5 月)	諸国大雨	武蔵国被害甚大	無
1833 (天保 4 年 8 月)	関東大洪水	農作物大損害、この後凶作、飢饉疾病流行死者多数に	無
1856 (安政 3 年 8 月)	関東大暴風	被害甚大	無
1890 (明治 23 年 8 月)	台風	長雨に続く台風で利根川や元荒川が相次いで決壊。全町域が濁流に襲われた。冠水は 2 週間。農作物は壊滅的な被害。浸水家屋 1,000 戸以上 (新堀 218 戸 小林 432 戸 三箇 67 戸 栢山 402 戸)。冠水田畑 1,400 町歩余が被害 (新堀 228 町 5 反 小林 507 町 1 反 三箇 233 町 栢山 438 町)。	無
1894 (明治 27 年 8 月)	大雨	県下各地被害 24 河川 1, 2 等公益道路のほとんど被害	無

1898 (明治 31 年 9 月)	台風	小林・栢山・三箇の各村は満水のため一晩中警鐘。8日に三箇村の星川が満水状態となり危険であり上大崎村地内の星川東岸八束堤を切り開く。さらに西岸(白岡町)側を切り開こうとして争いとなった。浸水家屋759戸(菖蒲110戸 小林437戸 栢山203戸 三箇9戸)。冠水田畑1,190町歩余(菖蒲155町9反 小林433町1反 栢山340町7反 三箇305町)。	無
1910 (明治 43 年 8 月)	台風	明治以降最大の被害。数的被害は不詳。部屋の鴨居まで水が達したとの話。柴山枝郷の農家は船でなしを収穫したとの話。小林の野々宮前に被災者を祀った供養塔がある。道路破壊2件(菖蒲1件 小林1件)。	有 No. 5-12
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	戦後最大の被害をもたらした自然災害。床上浸水24戸 床下浸水21戸 浸水合計45戸(栢山7戸 小林0戸 菖蒲26戸 三箇12戸) 半壊1戸(菖蒲) 罹災人口146人 人的被害なし。冠水田畑388ha(栢山63町 小林166町5反 菖蒲73町5反 三箇85町)。総被害額1,300万円余(三箇 菖蒲 栢山 小林の順)。	無
1949 (昭和 24 年 8 月)	キテイ台風	菖蒲村破損30戸	無
1966 (昭和 41 年 6 月)	台風4号	菖蒲町浸水378戸 冠水田畑1,850ha	無
1966 (昭和 41 年 9 月)	台風26号	菖蒲町浸水50戸 全壊1戸 半壊13戸 破損19戸 冠水田畑770ha	無

- ・菖蒲町の歴史ガイド 菖蒲町教育委員会社会教育課 菖蒲町教育委員会 昭和61年12月
- ・菖蒲町の歴史と文化財通史編 社会教育課 菖蒲町教育委員会 平成18年3月

久喜市(旧栗橋町)における水害・土砂災害年表

発生年月	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1624 (寛永元年)	大雨	利根川洪水。下川通(現小右衛門)の堤500間押切。	無
1645 (正保2年)	大雨	権現堂川洪水。小右衛門村香取神社(現川通神社)流失。	無
1663 (寛文3年)	大雨	川欠により関所普請。以後、寛保2年までに5回川欠・流失。	無
1690 (元禄3年6月)	大雨	島中川辺領内。利根川出水。川欠による関所被害。	無
1695 (元禄8年6月)	大雨	島中川辺領内。利根川満水。川欠による関所新規御普請。	無
1704 (宝永元年7月)	大雨	島中川辺領内。川欠、関所流出。小右衛門村堤長500間余切所。	無
1721 (享保6年)	大雨	利根川洪水。新井・享保池できる。	無

1742 (寛保2年8月)	大雨	利根川大洪水。島中川辺領内、関所流失、宝治戸池できる。	有 No.5-13
1757 (宝暦7年)	大雨	島中川辺領内、出水、利根川満水、権現堂上流の島中川辺領堤と幸手領八甫堤押切れ、外国府間村地内の島中川辺領堤押切れ。	無
1773 (安永2年)	大雨	島中川辺領内、出水、中里村の島中川辺領堤押切れ。	無
1783 (天明3年夏)	大雨	数日長雨、利根川大洪水、田畑浸水、中川辺領中里村浸水：田畑38町9反7畝12歩。	無
1786 (天明6年7月)	大雨	利根川洪水、小右衛門決壊、佐間大池、十王池、おしな池、中島池、外薬師池、狐塚池、雷電池などできる。小右衛門村、字百姓久右衛門前より同彦四郎屋敷まで堤長630間押し切られる。中里村本家流失：23軒、本家潰家：37軒、本家半潰：13軒、添家流失：90軒、添家潰家：52軒、人馬死者無、浸水：田畑8町3反7畝18歩、下畑4反6畝23歩池に。	有 No.5-14
1793 (寛政5年7月)	大嵐	利根川満水、領内堤壩惣越、所々難所、狐塚村50～60間切所発生。	無
1812 (文化9年9月)	大風雨	川々満水、狐塚村押切れ。	無
1824 (文政7年)	大雨	利根川大洪水、中里新池できる。	無
1846 (弘化3年4月)	暴風雨	河原村、大風で家被災、吹潰、瓦吹飛、物置・小屋吹破。	無
1846 (弘化3年6・7月)	大雨	利根川洪水、新井・狐塚切所より領内水入、房川渡の定杭1丈4尺5寸にて船留、満水時1丈9尺5寸。	無
1856 (安政3年8月)	大嵐	台風、栗橋宿内家屋、樹木の倒壊多し、河岸・船中の1名行方不明。	無
1887 (明治20年6月)	暴風雨	中葛飾郡内、田畑非常の損害、平年出来の2～4割。	無
1890 (明治23年8月)	大雨	大洪水、利根川・荒川など決壊、田畑・家屋被害326町村、静村：島川決壊して水害、土管年と呼ばれる。浸水戸数：栗橋268戸、静164戸、豊田：286戸、田畑：1,615町5反(幸手、権現堂、吉田、江面村含む)	無
1898 (明治31年7月)	大雨	利根川洪水、浸水：栗橋60戸、豊田5戸。	無
1899 (明治32年10月)	大雨	洪水で巡礼樋管が破損、巡礼樋管に代わり四土入谷樋管を設ける。	無
1906 (明治39年6月)	大雨	利根川、荒川、星川、元星川、綾瀬川出水、堤防決潰330か所。	無
1906 (明治39年7月)	大雨	利根川増水、豊田村にて10間程決潰、堤外一面の水。	無
1907 (明治40年8月)	大雨	利根川増水、鉄橋下水深19尺7寸、栗橋・古河間5日間運休。	無
1908 (明治41年7月)	大雨	利根川増水、栗橋にて12尺6寸。	無
1909 (明治42年6月)	大雨	利根川増水、栗橋にて11尺1寸5分、悪戸の麦畑浸水。	無

1910 (明治 43 年 8 月)	大雨	利根川大洪水、豊田村・静村に被害、栗橋：堤防決壊 5 件、堤防破壊 1 件、豊田：堤防決壊 1 件、堤防破壊：1 件。	有 No. 5-15
1911 (明治 44 年 7 月)	大雨	利根川増水、栗橋にて 15 尺、町民警戒。	無
1912 (大正元年 9 月)	暴風雨	栗橋駅左側待合室潰倒、町内の広告、看板、屋根瓦の破壊および荷足船転覆。	無
1916 (大正 5 年 7 月)	大雨	利根川増水、栗橋にて 15 尺 7 寸。	無
1938 (昭和 13 年 9 月)	台風	所沢、川越、熊谷、忍で荒川が決壊。	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	利根川大洪水、栗橋：浸水戸、流破壊 316 戸 死傷者 66 人、田畑浸水 531 町 5 反、決壊現場 東村・原道の村境より 1 km 南、決潰所は 350m。	有 No. 5-16
1949 (昭和 24 年 8 月)	キティ台風	栗橋：破壊 46 戸、破損 265 戸。	無

- ・栗橋町歴史年表 栗橋町文化財保護審議調査委員会 栗橋町教育委員会 平成 5 年 3 月
- ・久喜市栗橋町史第四巻資料編二近世 久喜市教育委員会 久喜市教育委員会 平成 25 年 3 月
- ・久喜市栗橋町史第五巻資料編三近現代 久喜市教育委員会 久喜市教育委員会 平成 24 年 3 月
- ・久喜市栗橋町史図説利根川と生きる栗橋のあゆみ 久喜市教育委員会 久喜市教育委員会
平成 27 年 9 月

久喜市（旧鷲宮町）における水害・土砂災害年表

発生年月	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1600 (慶長 5 年 7 月)	大雨	利根川洪水。栗橋（元栗橋）の舟橋が流出。	無
1617 (元和 3 年 4 月)	大雨	利根川洪水。栗橋（元栗橋）の舟橋が流出。	無
1624 (寛永元年 8 月)	大雨	利根川洪水	無
1671 (寛文 11 年 8 月)	大雨	利根川洪水	無
1703 (元禄 16 年 7 月)	大雨	利根川洪水	無
1704 (宝永元年 7 月)	大雨	関東洪水。江戸川の氾濫水が古利根川に逆流、葛西領猿ヶ俣村の堤防が決壊して江戸下町一帯に被害。これを契機に古利根川の落口を江戸川から中川筋に付け替える。八甫堤が宝泉寺脇ほか数か所で押し切れ、鷲宮明神社内の大乘院境内に数百人が避難。権現堂川堤が初めて決壊。	有 No. 5-17
1717 (享保 2 年 8 月)	大雨	利根川洪水。両国橋流出。	無
1722 (享保 7 年 6 月)	大雨	利根川洪水	無
1728 (享保 13 年 9 月)	大雨	関東洪水	無

1742 (寛保2年8月)	大雨	関東洪水。隅田川等で土手が切れ、浸水。死者3900人。栗橋御関所裏3か所で破堤、栗橋宿は民家残らず流出。(兼ねて用心致し候えば、死者少々)	有 No.5-18
1755 (宝暦5年7月)	大雨	関東洪水	無
1757 (宝暦7年5月)	大雨	関東洪水	無
1760 (宝暦10年11月)	大雨	利根川出水	無
1761 (宝暦11年6月)	大雨	利根川出水	無
1766 (明和3年7月)	大雨	利根川出水	無
1772 (明和9年8月)	関東大風雨	利根川出水	無
1779 (安永8年6月)	大雨	利根川出水	無
1780 (安永9年6月)	大雨	利根川出水。権現堂川通り上吉羽村地内、御府内御囲堤が押し切れ、東大輪村でも水災。	無
1783 (天明3年7月)	浅間山噴火	利根川洪水	無
1786 (天明6年7月)	関東洪水	木立村堤切所、幸手・庄内・松伏・新方領洪水で押し流される。島川通り八甫村の宝泉寺脇堤切れ所。西大輪村西側一円が水道になる。東大輪村の権現堂川地内御囲堤外切れ所。	無
1789 (寛政元年7月)	大雨	利根川出水	無
1791 (寛政3年8月)	大雨	利根川出水	無
1793 (寛政5年7月)	大雨	利根川出水	無
1802 (享和2年6月)	大雨	関東洪水。権現堂川をはじめ古利根川の堤防が次々と決壊。	無
1823 (文政6年5月)	大雨	関東洪水。鷲宮明神社領の田畑が冠水。このとき七曲堤の切り割り騒動。	無
1824 (文政7年7月)	大雨	関東洪水。利根川通りの堤防は処々で決壊。	無
1846 (弘化3年6月)	大雨	関東洪水。利根川通り本川俣村大囲堤切れ所。内郷御囲堤の内南篠塚村地内切れ所。百姓屋敷へ四、五尺も水入。数日悪水湛え。	無
1849 (嘉永2年8月)	大雨	利根川出水	無
1855 (安政2年7月)	大雨	利根川出水	無
1856 (安政3年7月)	大風雨	洪水	無
1857 (安政4年7月)	大雨	利根川出水	無
1859 (安政6年7月)	大雨	関東洪水	無

1864 (元治元年 8 月)	大雨	利根川大出水	無
1868 (明治元年 5 月)	大雨	利根川大出水	無
1868 (明治元年 8 月)	大雨	利根川大出水	無
1910 (明治 43 年 8 月)	大雨 (2 個の台風と低気圧の停滞)	北葛飾郡：溺死者 9 名、負傷者 4 名。住家流出 1 戸、全壊 5 戸、半壊 15 戸。農作物は全滅状態。	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	死者 1 名、家屋全壊 4 戸、家屋半壊 66 戸、床上 834 戸、床下 46 戸。中島土手の延長 50m が破壊され、全町が濁流に浸された。農作物の湛水期間 20 日ほど。東北線 (久喜-栗橋間 9km) は 10 月 10 日に開通。	無

- ・ 鷺宮町史 通史上巻 鷺宮町役場 昭和 61 年 12 月
- ・ 鷺宮町史 通史中巻 鷺宮町役場 昭和 61 年 9 月
- ・ 鷺宮町史 通史下巻 鷺宮町役場 昭和 62 年 7 月

蓮田市における水害・土砂災害年表

発生年月	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と No
1723 年 (享保 8 年)	大雨	元荒川も堤切れ田畑損傷	無
1739 年 (元文 4 年)	関東諸国大風雨	江戸時代最大の洪水、毛利藩が「刀称上流以南修治告成碑」を鷺宮神社に奉納	無
1766 年 (明和 3 年)	大雨	大水：石井家文書	無
1772 年 (安永元年)	大雨	高虫村大嵐：石井家文書	無
1783 年 (天明 3 年)	浅間山天明大噴火	噴火で蓮田も被害：石井家文書	無
1823 年 (文政 6 年)	大風雨	上平野村で困窮：石井家文書	無
1824 年 (文政 7 年)	大風雨	上平野村で困窮：石井家文書	無
1846 年 (弘化 3 年)	大風雨	平野村・蓮田村で作物大被害：篠崎家・飯野家文書	無
1855 年 (安政 2 年)	安政江戸地震	新宿の元荒川土手が割れ泥砂吹き出す：島田家文書	無
1859 年 (安政 6 年)	大風雨	黒浜地内の元荒川堤破堤：石井家文書	無
1890 年 (明治 23 年)	大雨	蓮田被害甚大	無
1893 年 (明治 26 年)	暴風雨	綾瀬村で浸水 2 戸	無

1910年 (明治43年8月)	大雨	黒浜・平野村で農作物全滅、馬込辻谷地区の水塚に水害記録あり	有 No. 5-19
1916 (大正5年)	雷雨	蓮田駅周辺で浸水14戸	無
1947年 (昭和22年)	カスリーン台風	農作物被害	無

- ・2014企画展「災害と蓮田」蓮田市文化財展示館 蓮田市 平成26年10月
- ・埼玉の水塚 東部地区文化財担当者会報告書第7集 東部地区文化財担当者会 平成25年12月

幸手市における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1704 (宝永元年7月)	大雨	幸手領八甫村(鷺宮町)の宝泉寺脇などの権現堂堤が次々と決壊した。また、花島村の江戸川堤も決壊し、惣新田村(幸手市)では30町歩が川から押し上げられた大量の土砂が耕地に堆積する高砂入りとなった。	無
1736 (天分元年8月)	大雨	中里村(栗橋町)の島中川辺領田堤が決壊し、外国府間村(幸手市)に砂入りの被害が発生した。	無
1742 (寛保2年7・8月)	大雨	幸手領にて3か所の大切所。松石村(幸手市)で大切所(権現堂堤が決壊した)。惣新田村(幸手市)で切所が発生し14町歩の田畑が砂入り。外国府間村(幸手市)の日光道中が大水で押し切れた。	無
1757 (宝暦7年4・5月)	大雨	外国府間村(幸手市)では権現堂川の出水で村内の島中川辺領田堤が決壊、日光道中にも押堀や池成ができ、その深さは5、6尺深い場所で1丈余。収穫のため畑などに刈りおいた麦が流出し、刈り取りを待つばかりの麦も冠水のため萌芽しなくなった。	無
1774 (安永3年)	大雨	江戸川右岸の田堤が花島村で押し切れ、惣新田村(幸手市)で28町6反歩余の田畑が高砂入りとなった。	無
1780 (安永9年)	大雨	権現堂川の大水で上吉羽の権現堂堤が決壊し、砂入りにより荒地となった。	無
1786 (天明6年7月)	大雨	松石村、高須賀村、内国府間村、権現堂村、木立村の堤通り各所で破堤。木立村では権現堂堤の破堤により押し流された73人の村人が溺死。外国府間村は流失家屋1軒、倒壊家屋3軒、倒壊した木屋12軒。	有 No. 5-20
1791 (寛政3年8月)	大雨	羽生領川口村(現加須市)の騎西領田堤が決壊、この影響を受けた幸手領も浸水し、平須賀村・上吉羽村・外国府間村で切所や農作物への被害が発生した。	無

1793 (寛政5年7月)	大雨	外国府間村の畑圃水除土手がが村内各所で決壊し、権現堂川から押し上げられた土砂で高砂入りとなる。中島村では江戸川堤が決壊、惣新田村・高須賀村・下宇和田村で家屋の床上浸水や麦種の流失、食料の欠乏などの被害に見舞われた。	無
1802 (享和2年6・7月)	大風雨	権現堂村地内名主吉十郎宅前、遅れて崩落寸前の順礼曲輪が相次いで決壊、権現堂村の61軒が流失。日光道中の往還に洪水が押寄せ、左右の家屋は床上1~2尺から深い所で4~5尺ほど浸水した。	有 No.5-21
1823 (文政6年6月)	大風雨	外国府間村で田畑や家屋に浸水被害が出た。	無
1824 (文政7年8月)	大雨	外国府間村の百姓九右衛門の家屋が流失し、家財を失った。	無
1846 (弘化3年6月)	大雨	閏5月下旬より雨天が続き、6月11日からの雨で所々の権現堂堤が決壊。	無
1856 (安政3年8月)	大風雨	強風により建物の倒壊被害が平須賀村・高須賀村でみられた。	無
1864 (元治元年8月)	大風雨	満水となった権現堂川の水は外国府間村を襲い、家屋の浸水をはじめ、食糧や衣類、薪などの生活必需品が濡れた。	無
1868 (慶応4年5月)	大雨	田植えが済んだばかりの水田や、収穫期を迎えた麦畑が水没した。農作物への深刻な被害が発生した中野村・長間村の村役人は領主の旗本に報告した。	無
1910 (明治43年8月)	梅雨前線及び台風2個	幸手市域の被害状況は葛西用水路の洪水や古利根川の決壊口から流入した濁流により、桜田村、上高野村、八代村が水没したが、権現堂川流域の行幸村、幸手町、権現堂川村、吉田村、豊岡村は幸いにも水害から回避された。	有 No.5-22
1947 (昭和22年9月)	カスリーン台風	台風は前線を刺激し、9/13~9/15の3日間で群馬県万場410.4ミリ、前橋393ミリ、秩父611ミリなど観測開始以来の記録的な降雨をもたらした。北埼玉郡東村新川通りの利根川堤防が9月16日午前0時30分ついに決壊した。	有 No.5-23

- ・幸手市史 通史編Ⅰ 生涯学習課市史編さん室 幸手市教育委員会 平成14年6月
- ・幸手市史 通史編Ⅱ 生涯学習課市史編さん室 幸手市教育委員会 平成15年3月
- ・幸手市史 近世資料編Ⅱ 生涯学習課市史編さん室 幸手市教育委員会 平成10年3月
- ・幸手の記念碑 幸手市教育委員会社会教育課 幸手市教育委員会 平成元年3月
- ・杉戸地域周辺の河川 鈴木 薫 平成11年2月

白岡市における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1617 (元和3年4月)	大風雨	大風雨、入間川洪水、日光社参の秀忠の従者溺死、栗橋舟橋流失	無
1703 (元禄16年7月)	大雨	元荒川出水堤防破壊、綾瀬川洪水	無

1704 (宝永元年7月)	大雨	6月15日より7月12日まで江戸近辺大雨	無
1717 (享保2年8月)	大風雨	関東大風雨	無
1723 (享保8年8月)	大雨	この月岩槻領出水、元荒川堤防押切	無
1730 (享保15年8月)	大雨	見沼代用水瓦葺掛樋洪水で決壊	無
1731 (享保16年8月)	大風雨	夜大風雨、見沼込樋破損	無
1742 (寛保2年7・8月)	暴風雨	暴風雨、関東諸国出水、忍城、川越城大破	無
1757 (宝暦7年5月)	長雨	4月中よりの長雨、1日～6日大雨、元荒川筋出水、備前堀押開く	無
1766 (明和3年7月)	大雨	この年秋元荒川筋出水、堤欠所崩所数か所	無
1772 (明和9年8月)	大風雨	関東大風雨、権現堂川堤決壊	無
1780 (安永9年6月)	大風雨	大風雨、利根川、荒川、戸田川洪水、村々人家流失	無
1786 (天明6年7月)	大風雨	12日より17日大風雨、元荒川増水破堤	無
1791 (寛政3年8月)	大風雨	大風雨、久下堤押切、上瓦葺掛樋押流、綾瀬川流域9日元荒川平野堤損壊	無
1791 (寛政3年9月)	暴風雨	暴風雨、6日元荒川平野堤損壊	無
1802 (享和2年6月)	豪雨	28日より豪雨、綾瀬川堤防切所、権現堂川決壊、元荒川備前堤欠崩	無
1823 (文政6年6月)	大風雨	この日大風雨、荒川洪水、石原堤越水、利根川破堤	無
1824 (文政7年7月)	大雨	14日より大雨、備前堤上郷筋満水	無
1846 (弘化3年6月)	大雨	6月下旬大雨、羽生領利根川水位9尺余となる、28日本川俣破堤、江戸千住辺など浸水	無
1849 (嘉永2年8月)	大雨	元荒川出水	無
1859 (安政6年7月)	大風雨	24日より大風雨、田畑山林人家損害。元荒川備前堤切れ、上瓦葺村掛樋を壊す。	無
1947 (昭和22年9月)	カスリーン台風	24日より大風雨、田畑山林人家損害、元荒川備前堤切れ、上瓦葺村掛樋を壊す 損壊家屋12戸、床上浸水338戸、床下浸水396戸、負傷者15人、田畑120反	無

- ・白岡町史通史編下巻 町史編さん委員会 平成4年9月
- ・白岡市地域防災計画 白岡市 平成28年3月

宮代町における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1704 (宝永元年)	大雨	利根川、中川、荒川氾濫し、関東に大洪水おこる。	無

1721 (享保 6 年)	大雨	江戸風雨甚だしく、利根川決壊する。	無
1736 (元文元年)	大雨	この年、利根川たびたび氾濫する。	無
1742 (寛保 2 年)	大雨	雨が続き利根川、荒川、入間川などが氾濫し、各地で大洪水となる。	無
1766 (明和 3 年)	大雨	利根川決壊	無
1772 (安永元年)	大風雨	8 月関東大風雨となり権現堂川決壊する、田畑凶作	無
1780 (安永 9 年)	大風雨	大風雨となり利根川等が決壊し洪水がおこる。	無
1786 (天明 6 年)	大風雨	大風雨、権現堂川村木立地内の堤防決壊する、大きな被害が出る。	無
1802 (享和 2 年)	大雨	権現堂堤決壊、大きな被害が出る。	無
1846 (弘化 3 年)	大雨	羽生領川俣村（羽生市）利根川決壊、大被害	無
1859 (安政 6 年)	大雨	羽生領川俣村（羽生市）利根川決壊、大被害	無
1890 (明治 23 年 8 月)	大雨	百間 浸水 100 戸、田畑 493 町 2 反 須賀 浸水 82 戸、田畑 349 町 4 反	無
1910 (明治 43 年 8 月)	大雨	南埼玉郡死傷者 8 人、家屋被害（全半壊破損、浸水）14,823 戸	有 No. 5-24
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	百間 浸水 736 戸、田畑 250 町、須賀 浸水 死者 1 人、1,023 戸、田畑 331 町 1 反	有 No. 5-25
1958 (昭和 33 年 9 月)	狩野川台風	道仏、須賀、東条原、姫宮、東、金原、和戸、宮代台地区で浸水被害	無
1966 (昭和 41 年 9 月)	台風 26 号	浸水 1 戸、全壊 3 戸、半壊 1 戸、破損 36 戸、死者 1 人、田畑 282ha	無
1982 (昭和 57 年 9 月)	台風 18 号	床下浸水 7 軒、道路冠水 13 箇所、農作物被害（水稻 19ha、ぶどう 20ha、なし 3ha、大豆 10ha）	無
1986 (昭和 61 年 8 月)	台風 10 号	床下浸水 31 棟、田冠水 60ha、畑冠水 100ha、道路冠水 15 箇所	無
1991 (平成 3 年 9 月)	台風 18 号	床上浸水 4 棟、床下浸水 21 棟、田冠水 21ha、道路冠水 28 箇所	無
2001 (平成 13 年 6 月)	大雨	床下浸水 6 棟（中央 3 丁目、笠原 1 丁目、笠原 2 丁目、東）、道路冠水 12 箇所	無
2004 (平成 16 年 10 月)	台風 22 号	床下浸水 3 棟（笠原 2 丁目、百間）、道路冠水 14 箇所、道路通行止め 14 箇所、堤防を超える河川増水（姫宮落川）、堤防の損壊（古利根川右岸）、庭先浸水 39 棟、避難所開設（和戸公民館・進修館・川端公民館）	無

・宮代町史通史編 宮代町教育委員会 平成 14 年 3 月

・宮代町地域防災計画 宮代町 平成 26 年 3 月

・宮代の水害 宮代町郷土資料館 平成 21 年 10 月

杉戸町における水害・土砂災害年表

発生年月	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1786 (天明6年7月)	大雨	幸手領内数か所で堤防が決壊し、大島村に押し寄せた水は、家屋の軒端につくほど高く押しあがって、家に流れ込んだ。雑穀から衣類に至るまでみんな流された。堤、坎樋、関柵は大破。	無
1846 (弘化3年6月)	大雨	大雨で増水した利根川の水は騎西領を呑み込んで、古利根川筋に達した。川沿いの杉戸宿、清地村、本郷村、小淵村、八丁目村、樋籠村の六ヶ村では水防人足で防御したが、小淵村の日光往還の築立道で決壊した。	無
1890 (明治23年8月)	大雨	権現堂川筋行幸村高須賀(幸手市)で決壊、東部地帯の水田が浸水した。杉戸町域では清地で10戸、大字杉戸で22戸、堤郷村大字堤根16戸が食料代の支給を受けた。作物は収穫が皆無となり被害総額は400万円に達した	無
1910 (明治43年8月)	梅雨前線及び台風2個	杉戸町域の状況は、8月12日午前6時堤郷村地先昇進場が決壊、同9時大口堤約20間(2か所)決壊く各方面から濁流が押し寄せた。	無
1947 (昭和22年9月)	カスリーン台風	利根川堤防が9月16日午前0時30分決壊した。当時の杉戸町域の人口は約18000人であったが、そのうち洪水の罹災者は15164人と約85%を占めた。農作物の被害は水稻が作付面積の92%、サツマイモが95%に達した。	無

・杉戸町史 杉戸町役場(町史編さん室)平成17年3月

・杉戸町の災害 杉戸町史調査報告書第1巻 杉戸町史編さん室 杉戸町 平成3年3月